

7月29日：銀行、鉄鋼株が買われ、ベトナム株は4日続伸

銀行、鉄鋼株への資金流入から株価指数は上昇、ベトナム株は4日続伸となった。

ホーチミン市場のVN指数は1.29%高の1,293.60ポイントだった。

同指数は直近4日間で2%上昇した。

値上がり銘柄数が値下がり銘柄数を上回り、251銘柄が上昇、134銘柄が下落した。

売買高は4億9,100万株以上で、売買代金は約16兆3,000億ドン（7億1,300万米ドル）だった。

「今年上半期の急上昇の後、ホーチミン取引所のシステム問題が解決したにも関わらず、7月上旬以降出来高は急減した」（ニュースサイト cafef.vn）

「直近の出来高の急激な減少は、新型コロナウイルス感染拡大への懸念によるものだろう。投資家は市場に戻る前は、しばしば強気のサインが現れるのを待つ」（同サイト）

「先月の出来高は25～30兆ドンに達したが、この水準を長期で維持するのは難しい」（ドラゴンキャピタルの投資副部長、Le Anh Tuan氏）

「現在の売買代金である15～17兆ドンは、まさに妥当である」（同氏）

VN30指数は1.42%高の1,427.55ポイントだった。

同指数組入銘柄のうち、23銘柄が上昇、4銘柄が下落した。

ホアファットグループ（HPG）、（POM）ホアセングループ（HSG）、ナムキム鉄鋼（NKG）、アジアコマーシャル銀行（ACB）、ベトナム投資開発銀行（BID）、ヴィエティンバンク（CTG）、軍隊商業銀行（MBB）、サコムバンク（STB）、VPバンク（VPB）、テクコムバンク（TCB）といった銀行、鉄鋼株が大きく買われた。

住宅用不動産株も午前の取引終盤から少し上昇した。ハド不動産グループ（HDG）、カンドィエン不動産（KDH）、ダットサイングループ（DXG）、センチュリー不動産（CRE）などに買いが入った。

ハノイ市場の HNX 指数も 1.54%高の 310.97 ポイントだった。

同指数は前日 0.08%高の 306.25 ポイントだった。

売買高は 8,760 万株以上で、売買代金は 2 兆 2,000 億ドンだった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。